

那覇地方裁判所委員会（第13回）議事概要

1 日時 平成22年3月29日（月）午後2時00分

2 場所 那覇地方裁判所大会議室

3 出席者（50音順）

（委員）

新垣邦雄，石川達也，大城公，大城真也，大城浩，木村元昭，鈴木亨，高良鉄美，田中健治，當銘正彦，吉井広幸

（説明者）

豊岡実（事務局長），本多信也（事務局次長），與那覇朝則（民事首席書記官），濱田孝（刑事首席書記官），小島賢二（裁判員調整官），渡口辰彦（裁判員係長）

（庶務）

石川哲男（総務課長）

4 委員の就任について

新たな委員として新垣委員，石川委員，大城公委員，大城真也委員，大城浩委員，木村委員，鈴木委員，高良委員及び當銘委員が就任したことが報告された。

5 委員長を選任について

石川総務課長から，亀川前委員長の異動に伴い，地方裁判所委員会規則第6条1項により新たな委員長を互選することが提案されたところ，委員の互選により木村委員が新委員長に選任された。

6 テーマ「裁判員制度の実施結果」について

(1) 裁判員候補者への配布物の説明

小島裁判員調整官から，裁判員候補者へ郵送される資料見本をもとに，説明がされた。

(2) DVD「裁判員に選ばれるまで，選ばれてから」の視聴及び裁判員選任手続き日でのオリエンテーション等の実演

渡口裁判員係長において、裁判員選任手続期日のオリエンテーションの実演が行われた。

(3) 質問手続室，裁判員法廷及び第1評議室の見学

吉井委員から，裁判員裁判の進行等について説明がされた。

(4) 裁判員裁判の実施状況等について

濱田刑事首席書記官から，裁判員制度施行後の状況について説明がされた。

(5) 意見交換会結果要旨（○：委員，■：裁判所）

ア 裁判員制度の実施結果について

○ 濱田刑事首席書記官からの説明にもあったように，沖縄においては裁判員選任手続における出席率の低さが懸案事項となっている。その理由はどのようなところにあると思われるか。

○ 出頭しなかった候補者に対しては，過料が課されるという罰則があるが，全国でその事例はあるのか。

■ 事例はまだない。過料を課すに当たっては，「正当な理由がないのに出頭しない」という要件がある。裁判所において，どこまでその調査ができるのかという問題もある。

不出頭者の中には，辞退事由があるが，事前質問票を記載して返送しない方が多くいる。実際には，裁判所から事前質問票の返送について催促を行うと，辞退を申し出る，というパターンが多く見られる。また，事前質問票は返送していないが，選任手続期日には出頭するという方もいる。期日呼出状に応じない方が多い訳ではないので，きちんと事前質問票を返送していただければ出席率そのものは全国の数値に近づくのではと思われる。

○ 呼出状を発送する時期と選任手続期日との間は十分にとられているのか。制度上どのくらい前とされているのか。

■ 特段の事情のない限り，裁判員等選任手続期日の6週間前までに呼出状

を発送するようになさなければならず（規則19条）、同期日と裁判員候補者に対する呼出状の送達との間には、少なくとも2週間の猶予を置かなければならない（規則20条）とされている。既に当庁で実施した裁判員裁判についても、この期間は遵守されている。

- 裁判員制度の周知内容として、審理方法や制度そのものについては頻繁に報道されているが、その前段階の手續となる選任手續についてはあまり知られていないのではないかとと思われる。全国と比較して、問題視されるほど沖縄の実情が悪いのかと知れば、事前質問票の返送率も上がり、出席率にも変化が見られるのではないかと思う。

7 次回期日及び協議テーマ

(1) 次回期日

平成22年9月21日（火）午後2時00分

(2) 協議テーマ

DV 手續について